

豊川市新しい夏の市民まつり第4回検討委員会 議事録

- 1 件名 豊川市新しい夏の市民まつり第4回検討委員会
- 2 日時 令和4年9月22日（木）午前10時00分～午前11時20分
- 3 場所 豊川市役所 本庁舎3階 本34会議室
- 4 出席者 25名（委員10名、オブザーバー4名、事務局11名）

委員：10名

笠原委員長・森下副委員長・長谷川副委員長・滝下委員・佐々木委員・豊田委員・
渡辺(稔)委員・神谷委員・木藤監事・川村監事

オブザーバー：4名

北村・渡辺(聡)・武田・佐竹

事務局：11名

平賀・鈴木・小木曾・杉浦・木村・望月・若生・滝川・松原・岩田・村上

受託会社：2名

中野・松島

- 5 欠席者 委員：1名

鈴木委員

オブザーバー：1名

田中

- 6 傍聴者 2名

- 7 内容・特記事項

◆事務局

：今回より、公開により会議を進める。今後、市ホームページ等に会議資料、議事録等を掲載する。

◆委員長あいさつ

：9月がターニングポイントである。本日、基本構想の叩き案が発表されるので、しっかりと議論し、検討していただきたい。

：商工会議所を中心に展開してきた「手筒まつり」が3年前に中止となり、もともと商工会議所を中心としながら検討してきたが、市民の声もあって、あらためて夏のまつりを検討

できないかということで、検討委員会が発足した。

：今までの「手筒まつり」を念頭に置きながら、ゼロベースで市民の意見を聞き、検討委員でワークショップを行いながら検討を進めてきた。これからの夏の市民まつりはどうあるべきかということ調査・検討してきた。

：今回、検討案としてまとめていくなかで、場所の問題、対象は誰なのか、経済的に成り立つのか、安全・安心は担保されるのかなど、様々な要素があってまつりが成立していることがわかり、これまで20数年間、よくまつりとしてやってきたなと感心したところだ。

：いろいろな課題はあるが、折り合いをつけて、バランスをとって企画をまとめるのかといえば、これは、多数決というよりも、ここにいる検討委員会のメンバーが一人ひとりの立場、経験を基に大いに議論していただき、委員会での決定という形にもっていきたい。

：何となくの全体観、全体調和ではなく、委員の皆様はそれぞれの立場で意見を言っていただき、委員会でまとめていけるように意識をお願いします。

：本日の会議から公開となり、傍聴の方も入る。オープンな会議となるが、オープンな会議だからこそ、本音で夏の市民まつりについて意見を述べていただきたい。一生懸命に委員のメンバーが考えている姿をオープンにすることで、結果的に、この委員会から夏の市民まつりがはじまっていると思う。その中で、市民、関係者の合意・同意を得て、成功に導いていきたい。短い時間だが忌憚のない意見をお願い申し上げます。

◆協議事項

(1) 新しい夏の市民まつりの基本構想について(資料：1参照)

事務局：「資料：1」により説明。

委員長：A・B・C案とあるが、会場はほぼ同じで、開催時間や内容が異なっている。今日は、開催時期、時間、場所について皆さんのコンセンサスを得たい。また、内容についてもご意見をいただくが、今日の検討のメインではない。

：私は、陸上競技場・野球場の2会場の案には反対だが、密を避けたいという市民の声もあり、なるべく会場が広い方がよいという意見がある。そこで、野球場も活用する案が記載されている。陸上競技場の一部はまつりにより傷めた場合に復旧が難しいため使用できないと言われている。決定ではないものの、念のために補足する。

：飲食は、陸上競技場内でできるということでしょうか。

事務局：陸上競技場内の飲食については、施設所管課であるスポーツ課に確認した。通常の利用では、熱中症対策の水やポカリスウェット等の摂取に限り認めているが、おまつりで飲食での使用となると、芝生を傷めることが想定されるため、芝生に液体などがしみこまないような対応・措置をすれば飲食は可能とのことである。

委員長：芝生に対してそういった処置をすることは当然のこととして、コストがかかることも承知で、議論を進める。

：誰のためのイベントか、ということだが、もちろん市民は重要だが、有料で見に来る観光客も重要であるし、企業から協賛をいただき開催するため協賛したいと思えるイベントであることも重要。また、様々な団体に協力を得て開催するため、関係する団体も重要であり、イベントのステークホルダーにとってもよいイベントとなるように検討を進めたい。

：順番に各委員、オブザーバーの意見を伺いたい。

委員：これまでの手筒まつりは、夜のイベントだったため子どもが参加できないが、15時から、昼12時からであればなお参加できる。事務局案はすごくよいと思う。

：開催は令和6年度だが、プレイイベントを令和5年に開催するというのもすごくよいと思う。

：陸上競技場だけでなく野球場も使う案がとてもよいと思うが、管理する費用がかかるのは確かであり、管理費用も出るようなイベントを企画してはどうか。バーベキュー等、入場料を取るなどができるのであればやるべきであると考えます。管理費が賄えるようであればやって、それが難しいようならやらない方がよいと思う。

委員：時間帯について、12時からでは長いのでこれだけの長時間できるのかと思った。イベントの内容を考えるのもとても大変だと思う。

委員：開催コンセプトはとてもよい。ネーミングも素晴らしい。ただ、イベントの内容を見るとコンセプトが少し見えなくなっていると思う。もっと豊川をどうしたいのか、ずっと豊川は続けていきたい、ということだと思うが、そのあたりをもう少し表現できたらと思う。

：会場についてだが、陸上競技場が第3種公認取得により使えないからこれまで野球場で花火をやっていたはずである。

：夏にチャリティーバザーを開催していた頃のかかなりの猛暑の経験から、開催時間について日

中にできるのかという懸念を感じる。

：今回立ち上げるのであれば、例えばこれまでの市民総踊りのような、見ている人、来る人も限られた人で、参加した人だけが楽しめるような総踊りはやってはいけないと思う。

委員：基本コンセプトは、訴えるところがあって非常によいと思う。

：内容についてはアンケート調査やグループインタビューの内容を取り上げてもらったと思う。開催構想案については、いろいろな情報をすべて取り上げてもらった案だと感じており、実現可能性を考えながら、どれをチョイスしていくのかということだと思う。

：開催時期について、夏の開催は、暑さ対策はもちろん、食中毒の危惧などもある。

：中身については、お子様がということを考えて、日中の開催は必要だと思う。

：どういう方が集まるかがわからないが、A案は動線がどうなるのかが気になる。フリーエリアとしての野球場は必要だと思うが、暑さ対策が要る。暑さ対策や音の対策という意味から、総合体育館も会場に入れてはどうかと思う。トイレもあるし、動線や集客から考えると、フリーエリアは必要であり、その意味から野球場も会場に入れるとよいと思う。

委員長：動線を考えると、というのはどういう意味か。

委員：メイン会場の陸上競技場を中心に、その周辺の公園内にグルメや体験エリアを置くということだが、公園内は樹木も多く、非常に混雑することが考えられる。陸上競技場の上は一般道であり、人がどのように流れるのか課題があるように思う。野球場は周辺から自由に入出りできる。何人来るかわからないが、過去のようにケヤキ並木の道路もオープンになれば、少し広く使える。人の流れを生み出すことを考えてはどうかと思う。

委員長：ケヤキ並木の道路を開放したほうがよいのでは、という意見もあり、できないというわけではない。今回の案では記載はしていないが、使うこともできると思う。

オザバー：警察官が入ってくるのは花火の関係かと思うが、会場が複数になると、警備本部も必要である。警備本部を設置する規模のイベントになってくると、突発事案(天候や事件事故等)を知らせる放送設備が必要になる。カメラの設置も検討した方がよい。安全の確保が必要である。

：お酒はどのように考えるのか。お酒が入ると必ず喧嘩が起きるため、お酒を販売する場合は考慮した方がよい。

オザバー：花火について、3号玉の花火は半径100mの保安距離が必要であり、花火の時間帯には

交通規制が必要になる。南側道路を封鎖した場合の北側道路はどうするのかなども考えることが重要である。過去、封鎖したときにお店も範囲に入ったという話もある。道路も保安距離の中に含まれた時に、野球場をフリーエリアとしていた場合、どうなるのかが見えていない。

委員長：お酒については過去も販売しており、関係者、煙火従事者はNGだが、来場者への提供は行う。

：参考までに、今までは、野球場、自由広場で花火の打上げは行ってきた。諏訪町駅から歩いてくる来場者が多いことから、北側道路は歩行者天国にした方がよいのではないかと思う。

オガバー：手筒まつりの時は、半径100mの立入禁止エリアを保つことがかなり難しかった。しっかりと管理して保つ必要があり、事故があった場合も速やかに対応する必要がある。

：救護所の設置も必要であり、救急車が速やかに入れるようにする必要がある。

オガバー：大きな動線の話で、お客様がどのように来場するのかを懸念している。豊川は車文化であり、自衛隊の演習場の活用は、調整は必要だが可能である。ただし、地盤がよくなく雨天時にはあまりたくさんの駐車ができないため、駐車場は各所に設けた方がよく、駐車場から会場へのアクセスも重要である。また、駐車場からの動線と安全確保も検討が必要である。

委員長：過去はプリオの駐車場をメインにしていたと思うが、事務局、どうだったか。

事務局：日本車輛等、企業の協力を得て、フリーパーキングを用意していた。プリオは有料だった。

：図面でいうところの北側に、企業のご協力での駐車場は用意していた。総数で2,800台程度が駐車できた。駐車場からは徒歩での移動をしてもらっていた。

委員長：なるべく無料で楽しめるように、駐車場を用意する他、子どもたちは自転車で来ることができるよう整備していく。

委員：関係イベントの内容次第かと思うが、この暑さの中で、屋外で30分以上何かを見るのは、相当厳しいと思う。自分も夏のイベントの経験があるが、本当にきつい。思ったような動員がかけられるのかが心配である。個人的には夕方からの開催でもよいのではと思う。昼間は子どもが参加できるという意見もあるため、時間帯の中でのコンテンツの在り方をしっかり明確に分けて開催することは方法のひとつである。先ほど、開催時間が長すぎるのではとい

うご意見があったが、1人が8～9時間も滞在することはないと思うので、個人が参加するものを選ぶように時間割を作ればよいと思う。

：コンセプト、構成についてはよいと思う。

：気になるのは、プレイベントについて記載されているが、具体的にプレイベントとはどんなものなのか事務局に聞きたい。

委員長：8月第4週の土曜日という開催時期については、猛暑、酷暑、豪雨の可能性の中で、非常に悩ましいところである。

：他に日程を探した場合のマイナス点として、他に開催できる日にちがないこと、夏休みが外れたときの子どもの参加が見込めるかどうか懸念があることである。翌日の日曜日までは順延できることもあって、この日程とした。

：プレイベントについては、今後、検討していく。

委員：今までいろいろな意見が出てきた中で、この構成案はうまく盛り込んで作成いただいたと思う。

：開催時期について、昨今天候は不安だが、夏の思い出という意味では8月の開催ということで、いろいろな懸念はあるものの、この日程でできればと思う。

：かなりの人が来場することを考えると、なるべく広い会場で開催したほうがよいと思うので、野球場は昼間をメインに、暑さ対策をしたうえで、活用することを考えるとよいのでは。

：そのあたりも複合化しながら、詰めるポイントはいろいろあるだろうが、方向性が本日明らかになればよいと思う

委員長：会場についてはそのとおりであるが、陸上競技場でどのくらいのキャパシティがあるのかがまだ確認できておらず、課題である。陸上競技場について、トラック外のタータンの部分を使ってよいのかまだはっきりしていないが、そこに席を組み、テントエリアとして活用し、観客席は無料開放するなどした場合にどのくらいのキャパシティになるかなどの検証が今はない。陸上競技場を本当に使ってよいのかもまだ議論されている状況の中で、カバーをすれば使えるということなので、実際にどのくらいの範囲で設備をつくれて、それにどのくらいのコストがかかるかを調査し、そこに全部収まるということであればそれでよいか、それがなかなか難しいということで、今もめている感じがある。昼間は野球場で、夜は有料席で陸上競技場を活用するなど、考える必要がある。

委員：来場者の動線、駐車場からは遠いだろうということが懸念。

：昼間は野球場で、夕方から夜は陸上競技場ということだが、陸上競技場は全部養生するとかなりのコストになるだろうから、野球場であればもう少し自由に使えるのかなと安易に思っている。

：市民の方が手筒まつりとあまり変わっていないと感じてしまう気もするので、打ち上げ花火は、3号玉を検討してほしいし、中国煙火を使った演出も検討してはどうか。目の前で見られる花火はあるし迫力もある。「見える花火、もっと花火、もっと手筒、ずっと手筒」いうコンセプトも思いついた。

委員長：中国煙火は、低温花火と同じか。

事務局：中国煙火は低温花火とは異なる。低温花火はステージ上の演出で活用を検討したい。

受託者：打ち上げ式の中国煙火は1万種類くらいあるため、上手くそれを組み合わせて、その場の保安距離にかなうものを使ってはどうか。それを活用することはもちろん検討の範囲である。

副委員長：フリーエリアは必要だと思うが、コストが見えていない。内容を詰めて、お金の面も検討してからでないと最終的な決定はできない。

：夏の開催への懸念が皆さんの中にはあるが、どのような対策をするのかが重要で、それ次第で開催時間が決まるのではないか。

副委員長：事務局を中心として、様々な検討をしていただきありがとうございました。

：陸上競技場利用のキャパシティについては未検討ということであるが、活用をする方向であるので、半円の部分（トラック外）も使えるようにした方がよいと思う。

：開催時期・開催時間については、来場者や従事者の体調管理からして、夕方から夜の開催が望ましいと思う。花火をメインにすることを考えると、花火をもっとしっかりとしたものにする必要がある。

：観光客のことを考えると、雨で順延することのリスクがあるため、雨対策が必要だが、地元のためのおまつりであれば、そういうこともいらぬし、市民の皆さんの意見に応えることを考えたい。

委員長：観光客のためということではなく、有料客というだけである。

：もともと手筒まつりの時、陸上競技場で行っており、半円も含めた全面でステージや栈敷

をつくり、後ろの方でグルメコンテンツ等をつくっていた。そこが使いなくなったという
ことで野球場に変えた経緯がある。会場を変えたときに、入口がどうしても狭く、1か所
しかなく、同じタイミングで多くの人が集まることの危険性があったため、警察からの指
導もあった。そのため、野球場よりも陸上競技場を活用したいと考えるが、陸上競技場全
面を養生して使用した場合のコストについては検討する必要がある。

: コンセプトについては、皆さんから非常によいという声をいただいているので、これをベ
ースに事務局と私とでこれに肉付けしていければと思う。豊川市に暮らしてよかったと思
えるようなイベントにして、そういう一言をもらえるようにしたい。

: 「夏の楽しい思い出となるような1日」とある。今回は「1日」のイベントの方向性で検
討することでコンセンサスをとりたいと思う。

: 構成については、手筒花火が入っていないので、言葉としては入れておいた方がよい。

: 最後のところで、「市民の期待に」とあるが、まつりにはあらゆるステークホルダーがい
るので、「市民をはじめ、多くの参画するみなさんの期待に」としたい。

: 開催年度については、令和6年度が最短であろうと、できれば令和5年度にプレイベン
トを開催したいと考える。

: 開催時期は、8月第4土曜日ということで進めたいと思う。時間は、お昼頃、11時半か
ら21時までの中で考える。

: 会場については、陸上競技場でのコストを検討する必要があるが、まずは陸上競技場をメ
インにし、野球場も含めたその周辺も活用するというので、決められればと思う。もち
ろん、野球場、ケヤキ並木も含めて、陸上競技場の中でどの程度できるか、どのくらい脇
にあふれるか、ということを検討する必要がある。それを前提として、内容を検討してい
く。

: ここまでの事項について、決定で問題ないか。問題なければ、拍手で、決定とさせていた
だきたい。

全員：(拍手)

委員長：内容については、皆さんいろいろとアイデアをお持ちですし、検討委員会の場ではなく、
別に企画を検討する機会を設けたい。地元の企業や市民も交えつつ、企画していければと
思う。それでよいか。

事務局：問題ない。

委員長：以上で協議事項の1を終了する。

(2) 今後のスケジュールについて(資料：2参照)

委員長：今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

事務局：次回の会議は、11月15日に開催する。会場は市役所ではなく商工会議所を予定している。詳細はまたご案内する。

：11月には、今日決定した内容をもとに、予算を算出しつつ、内容の細かい検討に入り11月、3月の会議を経て、検討委員会を実行委員会に変え、開催に向けての準備を進めたい。

委員長：11月には内容について詰めていきたいので、できるだけ参加をお願いします。予算のことも必要なため、11月の検討委員会前に、必要であればもう一度、検討委員で集まる機会が必要かもしれないので、含みおいていただきたい。

(3) その他

委員長：その他、皆さんから何かあるか。

特にないようだが、皆さんからもぜひ意見、企画、提案をお寄せいただきたい。

事務局：ご意見・ご質問などあれば、お気軽に事務局にお寄せいただきたい。

：それでは第4回検討委員会を終了する。本日は大変ありがとうございました。